

夜空に咲く火の花

小瀬川大和橋下流

夏の風物詩となっている大竹・和木川まつり花火大会。1,500発の花火が夜空に赤や青色に輝ききれいな火の花を咲かせた。

一緒に花火大会に来ていた村中凜香ちゃん、奥田如華ちゃん、名古屋愁君(大竹小1年)の同級生の3人は「音が大きくてビックリするけど、キラキラとした光がとてもきれいで楽しかったです」と満面の笑みで花火の感想を話してくれた。



(左) 夏の夜の楽しいひととき。
(上) 会場は多くの人出。
(左) 夜空に映える。

7
20



(左) かき氷おいしいな。
(下) 絵本の読み聞かせ。



7
23



会場は、多くの人でにぎわった。

夏休みの

お楽しみ

大竹中央幼稚園 交流ひろば

ハートとハートが主催する「はあとマーケット夏祭り」が開催され、フリーマーケットやリンパエステ、カフェコーナーなどが多くの人でにぎわった。小方ヶ丘の迎美奈子さんは、「学校で配られたちらしをみて参加しました。毎年夏休みに楽しみにしています」と話してくれた。一緒に来ていたひなのちゃん(小学1年)は「おいしい」とかき氷をほおぼっていた。



(左下) 引き網で生きもの採取。
(左) 捕まえた生きものを観察。
(下) 何がいるかな。

7
23

干潟は身近な海の博物館

小瀬川河口

小瀬川にすむ生きものの調査を通して、多くの人に大竹の自然に触れてもらう干潟観察会。

13組、39人の親子が参加し、小瀬川や発見した約50種類の生きものと触れあい、水質の良さや豊かな自然を体感した。

多くの参加者から「大竹の環境が良くなっていると感じた」「思っていたよりも多くの生きものが生息している」などのコメントがあった。



垂らした糸の先

阿多田島

28回目となる「あたた愛ランドで釣り大会」に市内外から80人が参加した。

フェリーで島に到着した後は、自分が見定めたポイントで、各々が釣りを楽しんだ。思うように魚が釣れない人や思いがけず大物を釣った人など、多くの人が島での時間を楽しんでいた。



(上)最後にみんな
で記念撮影



浜辺で釣りを楽しむ。

こんなに釣れたよ。

7/29



屋台に大満足

夏の夜の思い出

大竹駅前商店街

大竹駅前の夏の風物詩「土曜夜市」が多くの人でにぎわった。会場には手づくりゲームや屋台などが並び、子どもたちは夢中になって楽しんでた。

ステージでは、子どもたちが日ごろのダンスの練習の成果を披露したり、広島ご当地アイドル「etto-etto ひろしま」、吉本興業所属広島住みます芸人の松浜心さんのライブなどがあつたり、大いに盛り上がった。安芸大瀧太鼓むすび衆の演奏で土曜夜市は締めくくられた。

迫力満点太鼓の演奏



スペイン通りは大にぎわい

市長賞を受賞した
山中さんと朝顔。

7/30

きれいな朝顔



多くの朝顔が
きれいな花を
咲かせていた。

夏の朝の風物詩

大竹会館

40回目となる朝顔づくり展。74点の
出展があり、大小さまざまな朝顔が夏
の朝を出迎えた。

市長賞を受賞した山中清苗さん(元
町4)は、「平成13年に作り始めて、毎
年出展している。4月に種をまき、毎
日水を与えて花が咲くのを楽しみにし
ていた」と朝顔づくりの楽しさを話
してくれた。





軽トラ風呂
で温まる。

野性目覚める

市井原キャンプ場

木々と川に囲まれた、大自然のキャンプ場。テレビもゲームもない、生活を体験する野性への挑戦が行われ、小学校4年生から6年生までの69人が参加した。参加者は、キャンプファイヤーや料理コンテストなど普段味わえない体験を楽しんでいた。大竹小4年の堀大星くんは「自分で火を起こして飯ごうでご飯を炊くのが難しかったけど、キャンプファイヤーがすごく楽しかった」と目を輝かせた。同じく、大竹小4年の吉田陽向くんは、「両親と離れてさみしい時もあったけど、楽しいキャンプだった」と笑顔で答えてくれた。スタッフの木元夢菜さんは「今の便利な生活から離れた場所で生活し不便を楽しむ子どもたちの姿を見て、私たちも楽しくなりました。そしてなにより日に日に成長していく姿を見て感動しました。そんな姿を見ることができるので大変と思うことはありませんでした。また来年も参加してほしいです」と笑顔で感想を話してくれた。3泊4日の体験はかけがえのない思い出となった。

8
3~6

川の中での魚釣り



美味しくご飯が
つくれるかな。



フリンコ
楽しいな。

核兵器も 戦争もない世界を

総合市民会館

昭和20年8月6日に原爆が広島に投下されてから72年が経った。

「第35回原爆死没者追悼・平和祈念式典」が開催され、多くの人が参列した。

8時15分には、原爆によって死没された方の冥福と、世界の恒久平和を願い、黙とうをささげた。

市原爆被爆者協議会の藤川毅会長は、核兵器禁止条約について「核兵器廃絶への展望が開けた」と平和への願いを述べた。

また、児童・生徒による平和への誓い、折鶴の献納、参加者による献花などが行われ、核兵器も戦争もない世界を目指し、祈りをささげた。

平和への誓いを述べる
樋口舞子さん(大竹小6年)。

原爆死没者の追悼と恒久平和を祈り、献花

原爆慰霊碑「叫魂」へ各小中学校、
高校の児童・生徒が折鶴を献納



8
6

